Windows 95/98/98SE/2000/Me/XP

個別計算プログラム・基礎の計算



使用説明書

株式会社 エー・エス・ディー ASD Laboratory

はじめに

このプログラムは、建築構造計算の中で個別計算について収録したものです。

現在は独立フーチング基礎と杭基礎の計算プログラムが収録されていますが、今後も順次計算項目は追加 されて行きます。

但し、基本的に計算項目の追加は有償となっています。詳しくは、本文「10. メンテナンスについて」を参照 してください。

本プログラムのメンテナンスは、基本的には 弊社ホームページ(http://www.asd.gr.jp) または カスタマサポート(support@asd.gr.jp) で行います。 詳しくは、本文「10. メンテナンスについて」を参照してください。

注 意

1. 本書の内容の一部あるいは全部の無断転載をおよび複写を禁じています。

- 2. 本書内容は予告なく変更することがありますが、予めご了承ください。
- 3. 本書内容につきましては万全を期しておりますが、万が一お気づきの点、不明な点等がございましたら 弊社までお問合せください。
- 4. 本プログラムの運用に際しては、表現されている内容の技術的な前提条件を十分ご理解した上でご活用 ください。
- 5. 建築基準法、同施行令の改正または各地域による行政庁の指導等の違いによりプログラムの一部または 全部に機能不備等が発生しても、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本プログラムを使用することによって生ずる全ての利益または損失について、弊社は一切の責任を負い かねますので予めご了承ください。
- 7.『BST-F1』として提供される記録媒体に記録されているプログラムやファイル等、および本説明書や他の 全ての書類の著作権は、全て弊社に帰属します。貴殿は弊社から許諾を受けた使用権に基づき、本プ ログラムを指定装置においてのみ使用できます。

プログラム企画・開発

 (C)株式会社エー・エス・ディー &
 ASD Laboratory

ASD Co. & ASD Laboratory

目 次

1.B	ST-F1 について	5
2. B	SST-F1 の動作環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3. B	ST-F1 でできる基礎の形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3	3.1 独立フーチング基礎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3	3.2 杭基礎	6
4. 큉	ŧず使ってみよう (入力から計算,結果の表示・印刷までの基本操作の説明)・・・・・・・・・・・・	7
4	.1 説明に使う例題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4	.2 BST-F1を立ち上げる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4	.3 データを新しく定義する ・・・・・	8
	4.3.1 「工事名」、「ファイル名」、「単位系」、「地耐力」について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
4	.4 基礎データの入力画面を表示させる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	方法 1 •••••••••••••••••••••••••••••••••••	9
	方法 2 ••••••	10
4	.5 基礎データの入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
	4.5.1 簡単な入力画面説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
	4.5.2 入力画面でのキー操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
	4.5.3 入力の実際・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	4.5.4 データを入力し、登録すると…	14
4	.6 計算·表示、印刷 ·····	15
	4.6.1 計算	15
	4.6.2 結果の表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
	4.6.3 結果の印刷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
	a. 全ページを印刷するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
	b. ページ範囲を指定して印刷するとき ·····	19
5. フ	ヘカデータの管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
5	5.1 入力データの保存・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
5	5.2 保存データの読み込み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
5	5.3 保存データの保管(移動・コピー)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
5	5.4 保管データの読み込み ・・・・・	34
5	5.5 保存データの削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
6.7	人力データのメンテナンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
6	5.1 基礎データの修正・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
6	.2 基礎データの並び替え ・・・・・	41
6	3.3 基礎データの削除(個別削除) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	43
6	5.4 基礎データの削除(一括削除) ・・・・・	45
6	5.5 入力データのデータ名(工事名)の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47
6	i.6 入力データを記録するときのファイル名の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	49
6	5.7 入力データの単位系の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51

 マスターデータの設定(材料強度・サイズ等に関するファイル) 7.1 鉄筋強度マスターファイルのメンテナンス 7.2 鉄筋サイズマスターファイルのメンテナンス 	52 52 54
7.3 コンクリート強度についての設定・・・・・	55
8. コントロールファイルの設定(キー操作に関する設定) 8.1 キーアクションの設定 8.2 キャンセル処理時の設定	57 57 58
9. データ入力支援用補助ファイルの設定9.1 共通データの設定	60 60
10. メンテナンスについて	62
11. 単位系について	63

1. BST-F1 について

BST-F1 は基礎の設計のためのプログラムで、建築基礎構造設計基準・同解説および鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説(許容応力度設計法)に準拠しています。

2003年4月現在において、BST-F1で計算できる基礎形状は独立フーチング基礎(偏心荷重可)と杭基礎の設計ですが、今後それに加えてや「スラブの設計」等、必要な各計算機能を順次追加して行くためのベースとなります。

なお、今後追加されてゆく各計算機能はそれぞれ有償となりますので予めご了承ください。

2. BST-F1 の動作環境

BST-F1の動作環境は以下の通りです。

OS

Windows 95 Windows 98 / Windows 98SE Windows 2000 Professional Windows Me Windows XP

■コンピュータ本体

PC	:	OS がサポートしている PC/AT 互換機および PC-9800 シリーズ
CPU	:	Pentium 100MHz 以上
必要メモリ	:	64MB 以上
CD-ROM	:	プログラムインストール用として
HDD	:	インストール後 100MB の空きエリア
FDD	:	3.5 インチ FDD1 台

■プリンタ

A4 が印刷できる Windows 対応プリンタ(レーザープリンタ推奨)

3. BST-F1 で設計できる基礎の形態(2003 年4月1日現在)

3.1 独立フーチング基礎

BST-F1 では独立フーチング基礎の計算ができます。 入力できる外力は、長期および短期の軸力 N, モーメント M, 水平力 H です(右図参照)。



3.2 杭基礎

BST-F1 では杭基礎の計算ができます。 入力できる外力は、長期および短期の軸力 N, モーメント M です (右図参照)。 杭の配置パターンは下図を参照してください。



杭基礎で用意されているパターン



4. まず使ってみよう 入力から計算,結果の表示・印刷までの基本操作の説明

ここではまず最初に、データを入力し、その結果を見て印刷する、という基本的な使用方法を例題で説明 します。

内容はいたって簡単ですので、ぜひ説明に従って操作し、基本的な使い方をマスターしてください(わざ わざ説明する必要もないくらい簡単です)。

4.1 説明に使う例題

操作説明に使用するデータは、以下の通りです。 荷重単位は SI 単位です。 なお、SI 単位については、後記「11. 単位系について」を参照してください。 (このデータはサンプルデータ 1(SI)の中の1番目のデータと同じ物です)

[条件]

長期地耐力	: fe = 200kN/m^2	
コンクリート	: Fc = 24 N/mm ²	単位重量:24kN/m ³
鉄筋	: SD235 D19	



4.2 BST-F1を立ち上げる

BST-F1が正しくインストールされていれば、コンピュータの画面(デスクトップ上)に、 右図のような BST-F1 を立ち上げるための「ショートカット」があるはずです。 どうです、ありましたか? あったらそのショートカットをダブルクリックしてください。

無い時は...?

ごみ箱にでも捨てない限り、必ず画面上にあるはず です。 もしごみ箱に捨ててしまった場合は、それなりの処置 をし、取り敢えずここは何らかの方法で BST-F1 を立 ち上げてください。



4.3 データを新しく定義する

BST-F1を立ち上げるとメインメニュー画面が現れます。 BST-F1は全てこの画面が中心となり、ここから色々な処理の指示をすることにより作業を進めます。

混乱を避けるため、ここでは今からの作業に必要なメニュー項目についてのみの説明をします。 従って、ここで説明されていないメニュー項目については、別の所で説明していますので、そちらを参照 してください。



4.3.1「工事名」、「ファイル名」、「単位系」、「地耐力」について

まず、工事名とファイル名は最初ですから「(未定)」になっています。 そして、単位は「SI単位」、地耐力は「0kN/m²」となっていますね。

■ 工事名、ファイル名はいつでも入力できます。

特に、工事名は基礎データを入力した後でも、一度工事名を「(未定)」のまま保存した後でも、 再度読み込んだ後でもかまいません。要は提出書類を印刷する前であれば良い、ということ です。

■保存ファイル名は、データを保存するまでに入力すれば間に合います(当然ですね)。

保存するときにファイル名が指定されていなければ保存することはできません。従っていず

れにせよそのときに保存ファイル名を聞いてきますので、そこで入力しても十分に間に合い ます。

- また単位系ですが、ここでは「まず使ってみる」ということで、単位は「SI単位」のままでいい でしょう。
- 地耐力は、これから入力する個々の基礎データを入力する再に入力されます。

以上のことから、これらについては<u>今あせって入力する必要がない</u>ことになりますので、ここで はこれら「工事名」、「ファイル名」、「単位系」の入力は行わず、いきなり基礎データの入力をす ることにします。

なお、「工事名」、「ファイル名」、「単位系」の入力につきましては、後述の「6.5 入力データの データ名(工事名)の変更」で説明しています。

また保存ファイル名は

「6.6 入力データを記録するときのファイル名の変更」

以外に、

「5.1 入力データの保存」

でも説明していますので、気になるようでしたらそちらを参照してください。

いずれにせよ、取り敢えずそれらを一旦横に置いておいて、基礎データの入力へ進むことにします。

4.4 基礎データの入力画面を表示させる

基礎のデータ入力画面へは以下の二つの方法で行くことができます。 各自お好きな方法で基礎の入力画面に移ってください。

■方法1

メニュの[基礎データ]から基礎データ入力画面に移る



これで、新しい基礎データの入力画面が表示されます。

■方法 2

基礎データの入力画面を表示させるもう一つの方法を以下に示します。

入力データの表示グリッドをダブルクリックする



4.5 基礎データの入力

4.5.1 簡単な入力画面説明

基礎データの入力画面はは二種類に分かれています。 二種類の入力画面は「タブ」をクリックすることで切り替えることができます。



4.5.2 入力画面でのキー操作

入力は入力枠に必要な値を入力した後、[Enter]または[↓]キーで、次の入力枠に自動的に移動します。入力枠の移動順番は下図の通りです。

また、[↑] キーの場合は下図とは逆の順で入力枠を移動します。

入力枠には何も入力しなくてもいいですから、取り敢えず、[Enter] キー、 [↓]キーまたは [↑] キーをカチャカチャと押してカーソルの動きを確認してください。



ASD Co. & ASD Laboratory

4.5.3 入力の実際

画面のように入力してください。もちろん、ご自分で入力したい値を入力してもかまいません。 <共通値>画面はそのままでいいと思いますが、気になるようでしたら目を通しておいてください。



<共通値>画面

独立フーチング基礎	
入力共通值	
[設計条件] *地耐力 fe	200 kN/m2
*コンクリート Fc マ *コングリート単位重量 Wc マ *埋戻土単位重量 Ws	21 N/mm2 24 kN/m3 20 kN/m3
*X方向鉄筋 SD235 ▼ *Y方向鉄筋 SD235 ▼	D19 D19 D19 D19 D19 D19 D19 D19
鉄筋は、取り敢えずこれでいいですね。	
気になる方は変更してください。 操作方法はわかると思います。	ここは基礎底面の接地圧を計算時するときの設定です。 基礎本体の自重を考慮したくないときは、「コンクリート単位重量」のチェ
	ックを外してください。 - 同様に、埋め戻し土の自重を考慮したくないときは、「埋戻土単位重量」 のチェックを外してください。
	通常、ここはチェックを入れておくのが普通ですね。

4.5.4 データを入力し、登録すると...

データを入力し、〈登録〉ボタンをクリックすると、メインメニューに戻り、入力データグリッドにデー タが1行入力されているのが確認できます。

メインメニュー ファイル(E) 基礎5	"一タ作成(〕) 実行	(E) 設定	E(<u>M</u>)					地耐力が	「表示されま	した。
工事名: [朱定) (SI単位) ファイル名: [朱定) 地耐力: 200 kN/m2 入力溶み基礎データリフト(データ数: 0.)											
基礎名 1 F1 2 3 4 5 今 元 8 9 10	出力条件 全ケース 入力した されてい	ax(cm) 600 データス ます。	ay(cm) 600	Lx(m) 2600	Ly (m) 2600	Lx1 (m) 1000	Lx2(m) 1000	TYP 独立フーチン	メモ が 		
BST-F1(基礎の設置	+) ver1 ∩1	http:/	/www.asc	lerin	SUDDOR	t@asderi		(C)2002 4	ASD Co. All rig	終了	021201

ASD Co. & ASD Laboratory

4.6 計算·表示、印刷

4.6.1 計算

データは入力されましたので、次は今入力した基礎の計算をします。

ここで注意ですが、計算をするには「キーディスク」(旧:システムディスク)が必要ですので、お手元の「キーディスク」を用意してください。

それでは、お手元のキーディスクをフロッピーディスクドライブ(以下、FDD とします)へセットし、 下の画面のように<実行>メニューの<計算開始>を選択してください。計算が開始されます。

メインメニュー ファイル(E) 基	礎データ作成(D) 実行(E) 設	定(M)					
〈実行〉メニューの イル名:			(SI単位 地面は力	Σ) • 200 kN/m2			
入力済み基 <計算開始>をクリックする。 2 3	メインメニュー (ル(E) 基礎データ作成(L) エー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 シ 実行(E) 設定 計算開始 計算結果の ・(データ数:0) 	E(M) Ctrl+G 表示・印刷 Ctrl+P	(SI道 地面	単位) 打: 200 kN/m2		—
4 5 6 7 8 9 10 BST-F1(基礎の	基礎名 出力条件 1 F1 全ケース 2 3 - 3 - - 4 - - 5 - - 6 - - 7 - - 8 - - 9 - 10	ax(cm) ay(cm) 600 600 	Lx(m) Ly(m) 2600 2600 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	Lx1(m) Lx20 1000 1	(m) TYP 独立フーチング	<u>х</u> т	
	BST-F1(基礎の設計) ver1.01	http://www.asc	l.er.jp suppor	t@asd.gr.jp	(C)2002 ASD	終了 Co. All right reserved.	021201

注意: ここでキーディスクが FDD にセットされていないと、下図のような警告メッセージが出ますの で、キーディスクを正しくセットし、〈最試行〉ボタンをクリックして下さい。

BST-F1 v	er1.01
キーディスクを正しくセットしく最 試行>ボタンをクリックする。	キーディスクがフロッピィディスクドライブにセットされていません。 ドライブaに キーディスクをセットして、 [再試行]キーをクリックして下さい。 中止するときは[キャンセル]キーをクリックください。
	ー 再読行(R) キャンセル

計算が終わると、下図のような、計算終了のメッセージが表示されますので、〈OK〉をクリックして ください。



4.6.2 結果の表示

次は計算結果の表示です。

実は BST-F1 では、計算をするとその後自動的に結果が表示されますので、特に表示のために 何かするということはありません。

但し、あらためて計算はしないが、「既に計算済みである内容を表示させたい」ときは、メニューの

<実行>→<計算結果の表示・印刷> と指定してください。その後は以下の説明と同じです。

計算が終わるか、メニューで<計算結果の表示・印刷>が指定されると、下図のような計算結果の 表示画面が表示されます。



スライダーを操作して、ページを移動させてください。



4.6.3 結果の印刷

計算結果は印刷ボタンをクリックすることで行えます。

	_						_	
基礎名		F1 (独立ナー	・チング基礎)					E
基礎底版	пп	Lx=2600	Ly=2600	(A=6.760 m2)			I —
柱寸法	nn	ax=600	ay=600					
柱位置	nn	Lx1=1000	Ly1=1000	(Lx2=1000	Ly2=1000)			
底版までの高さ	nn	h1=1000(天朝	約 %)	h2=1000(GL)	から)			
フーチング厚さ	nn	D1=750(基端	j) D2=350(先	b端) d=80(底	版被の)			
X方向鉄筋	N/mm ²	SD235-D19	長tt=200	短t=295	at=2.9 cm2	ψ=6.0 cm		
Y方向鉄筋	N/mm ²	SD235-D19	長tt=200	短t=295	at=2.9 cm2	ψ=6.0 cm		
コンクリ−ト (Fc=21)	N/mm ²	長tc=7 短tc=	14 長恕=0.7	0 短龄=1.40	長fb=2.10 短f	p=4.20		
単位重量	kN/m ³	wc=24.000(כ	ンクリート)	ws=20.000(【戻し土)			
地耐力	kN/m ²	長fe=200.0 🔅	痘fe=300.0					
			X方向長期	Y方向長期	X方向短期	Y方向短期		
軸方向力	N'	kN	1100.000	1100.000	1400.000	1400.000		
モーメント	М	kN•m	35.000	35.000	200.000	200.000		
水平力	Н	kN						1
N(自重+埋戻し土重量	を含む)	kN	1247.264	1247.264	1547.264	1547.264		
Σ M=M+(H×h1)		kN+m	35.000	35.000	200.000	200.000		
$e = \Sigma M/N$		n	0.028	0.028	0.129	0.129		
e/L			0.011	0.011	0.050	0.050		
偏心	判定?		1/6以下	1/6以下	1/6以下	1/6以下		
α			1.065	1.065	1.298	1.298		
Xn								
必要底面積 A'=α N/	′fe	m ²	6.640	6.640	6.696	6.696		E
A >	A' ?		OK	OK	OK	OK	-	[

印刷ボタンをクリックするとプリンタ設定画面が表示されます。

但し、下の画面は弊社でのサンプル画面であると同時に、一般と違う部分があるので、お客様の 画面とは雰囲気が違うと思います。

しかし、ここでは「ページ範囲」の設定にのみ注目してください。多分同じだと思います。

		? ×
	全般 基本設定 レイアウト オーバーレイ 環境設定 ユーティリティ	
	- ブリンタの選択	部数はここで設定しても無効で
		す
		の刷け 党に1部づつの印刷とな
	7777777787En 77775	りかけな、市に1日 クラック目が向こな
	場所:	(0)検索(D)
	- MCKE	
	ページ範囲	
	 ○ 97(CU) ○ 選択した部分(T) ○ 現在のページ(U) 	
この「ページ範囲」の設定	○ ページ指定(@): 2 □ 部準	単位で印刷(0)
で印刷するページを指定	ページ番号のみか、またはページ範囲のみを入力し てください。例: 5-12	1 2 3 3
します。		
詳細は次頁を参照してく		
ださい		
		E印刷(P) キャンセル

■ ページ範囲の設定

「どのページを印刷するか?」はここで指定します。

a. 全ページを印刷するとき

下図のように「全て」にチェックが入っていると、表紙を含む全てのページが1部印刷されます。



b.ページ範囲を指定して印刷するとき

下図のように「ページ指定」にチェックが入っていると、その右枠で指定されたページが1部印刷されます。

このとき、表紙は1ページになることを考慮してページ設定をしてください。

なお、ページ範囲の指定方法は標準の Windows 仕様に沿って指定してください。

設定例:

1) 一つの頁(例:3頁)を印刷する場合	•、3 または 3-3
2)3 頁と5 頁と10 頁を印刷する場合、	3,5,10
3)1 頁から5 頁までと7 頁から10 頁言	までと13 頁を印刷する場合、 1-5,7-10,13
「ページ指定」にチェックが入ってい ると、その右の入力枠で指定された ページが1部印刷されます。 このとき、表紙は1頁になりますので、 注意してください。	ページ範囲 ・ すべて(L) ・ 選択した部分(T) ・ 現在のページ(L) ・ ページ指定(G): ページ番号のみか、またはページ範囲のみを入力し てください。例: 5-12

注意:設定例での設定方法は、ある特定のメーカー(エプソン)のプリンタドライバーを例に記述しています。 お客様がお使いのプリンタおよびプリンタドライバーによっては設定方法が違ったり、 場合によっては使用できないものがある場合もあります。 実際の設定に際しては、お客様がお使いのプリンタドライバーを確認してください。 ここでは、全ページを印刷することにします。

	💰 ÉD RI	×
	全般 基本設定 レイアウト オーバーレイ 環境設定 ユーティリティ	
	プリンタの選択 ジェンタの追加 プリンタの追加 プリンタ FAX	
「ページ範囲」の「全て」に	状態: 準備完了	
チェックをして、	場所: コメント: ブリンタの検索(D)	
	ページ範囲 ● すべて(1) ● 選択した部分(1) ● 現在のページ(1) ● ページ指定(2): 2 ページ番号のみか、またはページ範囲のみを入力し てください。例:5-12 ■ 部単位で印刷(2) 1 = 2 3	
	[1] ED期(P) キャンセル	
	「印刷」ボタンをクリックし てください。	

これで全ページの印刷ができます。

いかがでしょうか。

これで BST-F1 のデータ入力から計算、計算結果の表示、印刷と一通りの操作をしてきました。 全て簡単な操作なので、すぐにご理解されたと思います。

わかりにくい点は、何度か操作して見ることで理解できると思います。

5. 入力データの管理

この項で説明するデータの流れの全体図を、以下に示します。

<u>実行用データと保存データ</u>、そして<u>保管データ</u>の関係、特に<u>保存データ</u>と<u>保管データ</u>を混同しないようお 願いします。



5.1 入力データの保存

- 入力したデータは後日の再使用等に備えて保存しておくことができます。
- 入力データを保存するときは、保存のために使用するディスク容量をできるだけ少なくするため、 LZH 方式によって圧縮をして記録されます。
- 保存するときの、保存先ホルダは標準では

○:¥ASD¥BST-F1¥保存データ

というホルダが用意されていますので、特に変更の必要が無ければそのホルダを使うことになります。

- ■しかしお客様は自分の都合で、プログラムが動作している PC からアクセスできる PC 上の記録が可能なメディアであれば、どのPCに対してでも保存用のホルダを設定し、そこにデータを保存することができます。というより、データを保存すれば、その保存先がデータ保存ホルダと(呼ばれるように)なるということです。
- ここでいう「プログラムが動作している PC からアクセスできる PC 上」とは、例えば同一 PC 内の HDD や、LAN で繋がっている他の PC 上の HDD 等を指します。
- また、保存先が必ずしも HDD でなくても CD-R/RW や FDD のようなリムーバブルメディアであって もかまいません。
- 但し、それぞれのメディアには記録可能な容量に限界がありますので、注意が必要です。
- 一つの工事分として 5~10 種類の基礎データが記録されているとして、そのときの圧縮されている ファイルサイズは、およそ 700~800 バイトになります。これを基準に計算すると、1枚のフロッピー (1.4Mbyte)に記録できる工事数はおよそ 1835 工事となります。
- ■しかし、なかなか計算通りには行かないのが実情です。そこで実効率を80%として再計算すると、それでも1468工事分くらいは記録できそうです。これなら何とかなりそうですね。
- とは言え、特にフロッピーディスクに記録するときは、空き容量を確認しておいてください。

それでは操作です。

<ファイル>メニューの<現実行データを保存>をクリックしてください。

x1)x= 77149	1 2) 基礎データ作成(D) 実行(E) 設定	Ē(<u>M</u>)							
「 くファイル>メニューの」 ファイ ファイル	「事名: [(朱定) 	_				〈SI単位〉	<u>200 I.N.</u> Z.			
〈現実行データを保存〉を	ファイル(E) 基礎データ作成(D) 新規作成 Ctrl+N 保存データを開く Ctrl+C 現実行データを保存、Ctrl+S		f(E) 設定	E(<u>M</u>)		_	(SI単位) 地耐力:) 200 kN/m2		
クリックする。	保存データの前順余… Ctrl+E 保存データの移動… Ctrl+N 終了 Ctrl+O) 3 4))) 00	数:1) ay(cm)) 600	L×(m) 2600	Ly(m) 2600	L×1 (m) 1000	L×2(m) 1000	TYP 独立フーチング	XŦ	 ▼
	5 6 7									
BST-F10	8 9 10									
1	1								修了	
	BST-F1(基礎の設計) ver1.01	http:/	//www.asc	d.gr.jp	suppor	t@asd.gr.j	p	(C)2002 ASI) Co. All right reserved.	021201

データ保存のダイアログが現れます。

- ここではインストール直後の状態を前提にしていますので、以下の点に注意してください。
- 注意1:「保存する場所」が〈保存データ〉になっている。
- 注意2: 「ファイル名」が"(未定)"になっている。



ファイル名の入力欄に「練習」と入力し、保存ボタンをクリックしてください。 これでファイルは、「練習.LZH」で保存されます。

[保存]			? ×
保存する場所型: 🔂 保存データ	•	듣 🗈 💣 🎟	
ぼう ぼう ぼう ぼう ぼう ぼう ぼう に 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 「 」 』 」 』 」 」 』 」 』 」 』 」 』 「 」 」 」 」 』 」 」 」 』 」 」 」 」 』 「 」 」 」 」 」 」 」 』 「 」 」 」 」 」 」 」 』 「 」 」 」 」 」 」 』 「 」 」 」 」 」 』 「 」 」 」 」 」 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 」 』 』 』 」 』 』 』 』 』 」 』 』 」 』 」 』 』 」 』	DGS).lzh 5D.lzh		
マイコンピュータ ファイル名(11):	練習	•	
マイ ネットワーク): 压 マァイル (*.lzh)		キンセル
	ーニー」 ここでは保存するファイル名を「練 習」とします。		
	ファイル名に「練習」と入力し、	〈保存〉ボタンをクリッ	ックする。

これで、データ保存の説明は終わりです。

5.2 保存データの読み込み

- 保存しているデータは、後日の必要に応じて読み込むことができます。
- 読み込みに行くとき、最初に開く保存データホルダは、最後に保存したほろだとなります。

■ 最後に保存したホルダ(メディア)がリムーバブルメディア(CD-ROM/FD 等)の場合、同じドライブにリ ムーバブルメディアがセットされてないとエラーになり、本来の BST-F1 の保存用ホルダを開くことに なります。

それでは操作です。

<ファイル>メニューの<保存データを開く>をクリックしてください。

〈ファイル〉メニューの デ	(ンメニュー ァイル(E) 基礎データ作成(<u>D</u>)	実行(E) 設	定(M)							
	1、 工事名: (未定)					(SI単位)				
〈保存データを開く〉を		作成(0) 実	/∓(Γ) ≣&⊂	=(M)	_	1162445	2001.11/	<u> </u>		
クリックする。	新規作成 保存データを開く	Ctrl+N Ctrl+O		=\ <u>m</u> /			(SI単位	>		-
	現実行データを保存…	Ctrl+S	效:1)				地耐力:	200 kN/m2		
	(保存データの移動	Ctrl+M) ay(cm)	L×(m)	Ly(m)	L×1(m)	Lx2(m)	TYP	XŦ	
	終了	Ctrl+Q	0 600	2600	2600	1000	1000	独立フーチング		<u>_</u>
	4									
	5									
	8									
	9									
BS	ST-F1									
		▲ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●								
	BST-F1(基礎の設計) v	er1.01 http	://www.asc	l.gr.jp	suppor	t@asd.gr.j	p	(C)2002 ASI) Co. All right reserved.	021201

データを読み込むダイアログが表示されます。

最後にデータを ルトホルダとして	保存したホルダが、 開かれます。	、データを読み込むときにディフォ	
保存データを読み込む ファイルの場所型	(保存データ		?× ← € ☆ ⊞•
び 履歴 デスクトップ	 ■ テストデータ(CGS) ■ テストデータ(SD.lzl ■ 練習.lzh).lzh .h 既に保存され います。 このデータに	れているデータが表示されて よ「5.1 入力データの保存」の
マイ ドキュメント マイ コンピュータ マイ ネットワーク	ファイル名(N): ファイルの種類(I):	保存説明で作 「 圧縮ファイル(*.lzh) 「 読み取り専用ファイルとして開く(<u>R</u>)	呆存したデータです。 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

読み込むファイル名、ここでは「テストデータ(SI).LZH」をクリックし、〈開く〉ボタンをクリックしてください。 これで保存ファイル「テストデータ(SI).LZH」は読み込まれます。



これで、データ読み込みの説明は終わりです。

5.3 保存データの保管(移動・コピー)

- 保存データの移動またはコピーは、既に保存されているデータ(保存データ)を、フローピーディスク や CD-RW のようなリムーバブルメディアまたは HDD 上のホルダに保管する処理です。
- 従って、現在の実行用データ(メインメニュー画面に表示されているデータ)を直接「保管」の対象と することはできません。

現在の実行用データを保管するときは、一度データを「保存」する必要があります。 なお、データの保存に関しては「5.1 入力データの保存」を参照してください。

- 保管先はお客様が自由に指定できます。但し、LAN で繋がった PC にはアクセスできません。対象 は自 PC のみです。(2003/4/01 現在)
- また移動とコピーの違いですが、移動は対象となるデータを目的のホルダまたはメディアにコピーした後、もとのデータを削除します。
- これに対し、コピーは対象となるデータを目的のホルダまたはメディアにコピーした後、もとのデータ はそのまま残します。
- 目的に応じて移動とコピーを使い分けてください。

それでは操作です。

<ファイル>メニューの<保存データの移動>をクリックしてください。

〈ファイル〉メニューの	メインメニュー ファイル(E)	- 」基礎データ作成([〕) 実行(E)	設定(<u>M</u>)							
		略名: (味定)						(SI単位)				
<保存データの移動>を	ファイ" メカ 、	ファ (<u>************************************</u>										
クリックする。 		新規作成… 保存データを開く…	Ctrl+N Ctrl+O						(SI単位))		_
		現実行データを保	存 Ctrl+S Ctrl+D	夕数:	3)				地耐力:	200 kN/m2		
		保存データの移動	Ctrl+M	ນ ay	(cm)	L×(m)	Ly(m)	L×1 (m)	Lx2(m)	TYP	×t	
		終了	Ctrl+Q	00	600	2600	2600	1000	1000	独立フーチング		-
		2 F2	全ケース	600	600	2600	2600	0	1000	独立フーチング		
		3 F3	全ケース	600	600	2600	2600	0	0	独立フーチング		
		4										
		5										
		7										
		8										
		9										
	DOT 51	10										
	BST-F1											
	終了											
	E	BST-F1(基礎の設計	+) ver1.01 ht	ttp://ww	ww.asd	.gr.jp	suppor	t@asd.gr.j	p	(C)2002 ASE) Co. All right reserved.	021201

次へ行きます。

データを移動するためのフォームが表示されます。 ここで画面の説明をしておきます。



それぞれのパーツの役割や流れはわかりましたか?

それでは操作です。

ここでは、データの作成、保存での例題の続きとして操作です。 つまり、〈保存データ〉ホルダに保存されている「練習.LZH」を、A ドライブのフロッピーディスクに保管 (移動)する場面として説明します。

まず、第一段階は〈保存データ〉ホルダを開きます。



次は、移動させるデータを指定します。 その前に一括指定ボタン [>>]、[<<]の操作説明をします。



さて、次は本番です。

<保存ホルダ>内の「練習.LZH」をAドライブのフロッピーディスクに保存する操作をします。 説明は<保存ホルダ>が開かれたところからとなります。



移動させるデータは選択できましたので、次は移動先のAドライブ(フロッピーディスクドライブ)を選択します。



これでデータ移動処理が終了し、下図のような画面になり、保存データが移動されているのが確認できます。



これで移動の説明は終わりです。

- 次は「保存データの削除」についての操作説明となるわけですが、ちょっと問題です。
- 何が問題か、と言いますと「現状では練習とは言え削除をするテストデータがない」のです。
- そこで、ここではもう一踏ん張りして、「移動」ではなく「コピー」にてデータを保管する作業を簡単に 説明しますので、同じように作業してみてください。
- しかも、ここでは「今 FD に保管(移動)したデータを、コピーモードで保存ホルダに読み込み直す」と いうパターンで説明します。
- ■これは次の「保存データの削除」の練習のために必要ですので、ぜひともこの作業をしておいてください。
- 疲れましたか?申し訳ありませんね。

5.4 保管データの読み込み

すぐ前で説明しましたように、ここでは「FD に保管されているデータを、保存ホルダに読み込み直す」というパターンで説明します。

このとき、FD に保管されているデータはそのまま残しておくことにします。つまり「コピー」ということです。





BST-F1 使用説明書





これでコピー処理の説明は終わりです。

削除処理の準備もできましたので、次は「保存データの削除」です。

5.5 保存データの削除

- 保存データの削除は、タイトル通り、保存されているデータを削除する処理です。
- ここで削除すると、もとに戻すことはできません。
- 重要なデータは保管等をしておくことをお奨めします(「5.3 データの保管(移動・コピー)」参照)。

■ ここでは、「5.4 保管データの読み込み」で<保存データ>ホルダにコピーした「練習.LZH」を削除す る練習をします。

それでは操作です。

<ファイル>メニューの<保存データの削除>をクリックしてください。

ب ر	インメニュー 77イル(E) 基礎データ作成(D) 実行(E) 設定	(<u>M</u>)				
〈ファイル〉メニューの	レ、 工事名: 庁ストデータ1 ファイル名: 庁ストデータ1	(SD (SD		(SI単位) 地耐力: 2	200 kN/m2		
〈保存データの削除〉をク	入力 メインメニュー ファイル(E) 基礎デ・ 新規作成 (保存データを開く) 現実行データを保て (保存データの間)除	- タ作成① 実行(Ctrl+N Ctrl+O 字 Ctrl+S	 (E) 設定(M) (対応) (加) (加) (加) (加) (1) ((SI単位) 地耐力: 200 kN/m2		
リックしてください。	上 (株子ジースのお勧 上 (保存データの移動 修 (終了)	Ctrl+Q 00	ay(cm) Lx(m) 600 2600	Ly(m) Lx1(m) 2600 1000	L×2(m) TYP 1000 独立フーチング	у т	• •
	8 3 F3 3	全ケース 600 全ケース 600	600 2600 600 2600	2600 0 2600 0	1000 独立フーチンゲ 0 独立フーチンゲ		
В	ST-F1(
						修了	
	BST-F1(基礎の設計	-) ver1.01 http://	/www.asd.gr.jp	support@asd.gr.jp	0 (C)2002 ASI	D Co. All right reserved.	021201

データを削除するためのダイアログが表示されます。 簡単に説明します。



ASD Co. & ASD Laboratory

それでは、保存データの削除操作をします。





以上で削除説明は終わりです。

6. 入力データのメンテナンス

6.1 基礎データの修正

入力済みのデータを修正するときは、修正対象のデータをメインメニューのグリッド上でダブルクリックしてください。

メインメニュー ファイル(E) 基礎データ作成(D) 実行(E) 設定(M)										
工事名: [(未定)			(SI単位)							
ファイル名: (未定) 入力済み基礎データリスト(データ数:	:1)	2007月:	200 KN/m2							
基礎名 出力条件 ax(cm) a	y(cm) Lx(m)	Ly(m)	Lx1(m)	Lx2(m)	TYP	хŧ				
1 F1 全ケース 600	600 2600	2600	1000	1000	独立フーチング			_		
2		45								
3										
4 5										
修正するデータをマウスでダ	ブ									
ルクリックしてください。										
1 101										
	I			1		1		-		
							64 7	1		
							নিং 1			
			0		(0)0000 ACD			001001		
BSI-FIV 基礎の設計)ver1.01 http://v	www.asd.gr.jp	suppor	t@asd.gr.j	P	(C)2002 ASE	i Co. All righ	nt reserved.	021201		

すると、データ修正画面(表示内容は入力画面と同じ)が表示されますので、ここでデータを修正し、<登録>ボタンをクリックしてください。

ここで<登録>ボタンをクリックしないで、<キャンセル>ボタンをクリックすると、修正された内容は記録され ないままで修正画面を終わりますので、注意してください。



修正説明は以上です。

6.2 基礎データの並び替え

基礎のデータは、入力した順に記録され、表示されます。 計算処理も入力した順に行われ、当然結果の表示や印刷もまた入力順になります。

でも「それでは困る」と言うときのために、BST-F1 では入力データの順番を並び換えることができるようにしました。

但し、良くある名前順に、といった何らかのパラメータを基準に自動的に並び替えるようなものではありません。

お客様がひとつひとつのデータを動かしながら、並び替えるという方法です。

では、以下に説明をします。

今、基礎データはF1、F2、F3の順に3種類のデータが入力されていますが、この中のF3の並び位置を 上に移動させる操作をします。

操作は、

(1) まず移動させたいデータを選択(マウスでクリック)し、

(2) 上方向への移動させるときは「上方向への移動ボタン」を、

(3) 下方向への移動させるときは「下方向への移動ボタン」を

クリックして行います。

メインメ												
ファイル	ν(<u>F</u>)) 基礎5	"一タ作成([2) 実行	(<u>E</u>) 設定	E(M)						
	ТЗ	南名・ 巨	フトデーク	1/01)					上方向·	への移動ボタ	ン	
_										000 1 11 (0	$\overline{\langle}$	
27	ファイル名: テストデータ1(SD								地的刀:	200 KN/m2		\frown
는 전	力济	済み基礎 :	データリスト	(データ	故:3)							
		基礎名	出力条件	ax(cm)	ay(cm)	L×(m)	Ly(m)	Lx1(m)	Lx2(m)	TYP	хŧ	
	1	F1	全ケース	600	600	2600	2600	1000	1000	独立フーチング		∕⊇ /
	2	F2	全ケース	600	600	2600	2600	0	1000	独立フーチング		
	3	F3	全ケース	600	600	2600	2600	0	0	独立フーチング		
	4								下方向。	 への移動ボタ	×	
	5								1 22 103	*> 19 #010 1	·	
	6											
	7											
	8											
	9											
	10											
	終了											
BST-F	1(3	基礎の設調	計) ver1.01	http:/	/www.asc	l.gr.jp	suppor	t@asd.gr.j	p	(C)2002 ASD) Co. All right reserved.	021201

では操作の実際です。やってみてください。簡単ですね。 メインメニュー ファイル(E) 基礎データ作成(D) 実行(E) 設定(M) (SI単位) 工事名: テストデータ1(SD) ファイル名: 〒ストデータ1(SD) 地耐力: 200 kN/m2 入力済み基礎データリスト(データ数:3) 基礎名 出力条件 ax(cm) ay(cm) Lx(m) Ly(m) Lx1(m) Lx2(m) TYP XE -600 600 2600 2600 1000 1000 独立フーチンク 1 F1 全ケース 2 F2 全ケース 600 600 2600 2600 1000 独立フーチング 0 全ケース 🔥 3 F3 0 独立フーチング 600 600 2600 2600 メインメニュー 5 設定(M) F3のデータを選択 (マウスでクリック)し、 上方向のボタンをクリックすると、 (SI単位) 8 地耐力: 200 kN/mZ ファイル名: 〒ストデータ1(SD) 9 10 入力済み基礎データリスト(データ数:3) 基礎名 出力条件 ax(cm) ay(cm) Lx(m) Ly(m) Lx1(m) Ly1(m) TYP ЖŦ 全ケース 600 600 2600 2600 1000 1000 独立フーチング 1 F1 2 F2 全ケース 600 600 2600 2600 0 1000 独立フーチング 全ケース 600 600 2600 2600 0 独立フーチング 3 F3 BST-F1(基础 4 設定(M) すると、3番目にあった「F3」のデータが1行上 に移動して、2行目になります。 (SI単位) 地耐力: 200 kN/m2 (データ数:3) 入力済。 10 基礎 条件 ax(cm) ay(cm) Lx(m) Ly(m) Lx1(m) Ly1(m) TYP УŦ • 1000 独立フーチング 1 F1 -7 600 600 2600 2600 1000 2 F3 600 2600 0 独立フーチング ウース 600 2600 600 600 2600 1000 独立フーチング 3 F2 全ケース 2600 0 BST-F1(基础 4 メインメニュ ファイル(E) 基礎データ作成(D) 実行(E) 設定(M) そのまま、もう一度上方向のボタンをクリックすると、 工事名: テストデータ1(SD) (SI里位) ファイル名: 〒ストデータ1(SD) 地耐力:200 kN/m2 入力済み基礎データリスト(データ数:3) 基礎名 出力条件 ax(cm) ay(cm) Lx(m) Ly(m) Lx1(m) Ly1(m) TYP • хŦ 600 600 2600 2600 1000 1000 独立フーチング 1 F1 全ケース 終了 600 600 2600 0 独立フーチング 2 F3 全ケース 2600 3 F2 全ケース 600 600 2600 2600 0 1000 独立フーチング 021201 rved. 4 メインメニュー 5 ファイル(E) 基礎データ作成(D) 実行(E) 設定(M) 6 7 工事名: 〒ストデータ1(SD) (SI単位) 8 ファイル名: 〒ストデータ1(SD) 地耐力: 200 kN/m2 9 入力済み基礎データリスト(データ数:3) 10 基礎名 出力条件 ax(cm) ay(cm) Lx(m) Ly(m) Lx1(m) Ly1(m) TYP жŧ ٠ F 1 F3 全ケース 600 600 2600 2600 0 0 独立フーチング 2 F1 600 1000 独立フーチング 全ケース 600 2600 2600 1000 3 F2 2600 1000 独立フーチング 全ケース **N**0 600 2600 0 BST-F1(基礎 4 5 2番目にあった「F3」のデータは、再び1行上に移動して、 1行目になります。 10 終了 BST-F1(基礎の設計) ver1.01 http://www.asd.gr.jp support@asd.gr.jp _____ (C)2002 ASD Co. All right reserved. 021201

ASD Co. & ASD Laboratory

データを下に移動させるときは、「下方向への移動ボタン」をクリックするだけです。 いろいろと操作してみてください。もうサンプル画面は無くてもわかりますね。

6.3 基礎データの削除(個別削除)

入力されているデータを個別に1データ単位で削除する方法について説明します。 サンプルデータには、F1、F2、F3の3種類のデータがありますが、その中の一つ、F1を削除してみましょう。

メインメニュ ファイル(E)	[一 〕 基 _{事名} ,	·礎デ	一タ作成	(D) 実行	行(<u>E</u>) 設	定(<u>M</u>)		(SI単位)	 スで	ましようとする ・クリック)し、	るデータ(基)	礎名 : F1)をi	選択(マウ	
	±-12•		ストナー: 					_	(01+112)		~ _			
2,771,	ル-石: マンサ		ベトナー: *** タロラ	910SD 11.(="	5##- 0 \									
	角の空	短子	-907		×90:37	1.7.5			/					
	奉啶 C1	ك ،	ax(cm) 600	ay(cm)	LX(m)	Ly(m)	LXI(m)	LyT(m)	シート・シーズ	Xt ਆ				
2	F2		600	600	2600	×2600	0001	1000	シェニノーアン 神力フーギン	が				
3	F3		600	600	2600	2600	0	0	/14.02/ // 独立フーチン	ッ .				
4											ューの中の	く基礎テーク	タ作成>をクリ	リックし、
5														
6														
7		I;	事名:	テストデー	-\$1(SD					(SI単位)			
8	7	アイ	ル名: [テストデー	-\$1(SD									
10	7	いわえ	斉み基礎	データリ	スト(デー:	皴:3)								
	Γ		基礎名	ax(cm)	ay(cm)	Lx(m)	Ly(m)	Lx1(m)	Ly1(m)	ТҮР	УŦ			
	ĺ	1	F1	60	0 600) 2600	2600	1000	1000	独立フーチ	ンゲ		_	
		2	F2	60	0 600	2600	2600	0	1000	独立フーチ	ング			
		3	F3	60	0 600	2600	2600	0	0	独立7	/甘水二	カの個別当	除いたわけい	カーナノゼ
В		4	メインメニ								く基礎リー	グリー回方明	际/をクリツン	
		0 6	ファイル	,(E) 基	礎データ作	成(<u>D</u>) 実	€行(<u>E</u>) ≣	錠(M)			500			
	ŀ	7			独立フーチ	ング基礎	Ctrl+I	1						
	ŀ	8		⊥∌ ·	机叠罐		Gtrl+I	-2	\sim	\leq	(01年111)			
		9	רע קע	1111	E事名の修	距								
		10	\sim	/小角/	島礎データ(■ ##≓、 −	の個別間期 の人気をおり取	余			1.40	-			
				전 3 1 E1		noi eu noi eu	 π	ען 1 260	LXI(m)	Lyr(m)	YP 3由せつにエいか [。]	Xt		
				2 F2	60	00 00 10 60	10 200 10 260	0 200 D 260		1000	1 独立フーチング			
				3 F3	60		0 260	0 260	0 () 0) 独立フーチング			
		BS		4			_							
				5										
				6										
				7										
				8										
				9										
													終了	
				BST-F1(基礎の設調	計) ver1.03	3	http://w	ww.asd.gr.j	psuppor	t@asd.gr.jp (C)2003 ASD Co.	Allright reserv	ed. 030314

ここで指定されたデータを本当に削除しても良いかどうかの確認ダイアログが表示されます。 一度削除したデータをもとに戻すことはできません。

削除の前に、もう一打確認して削除をするか中止するかを決めてください。



<OK>ボタンをクリックして削除処理を終わり、メインメ ニュー画面に戻ってください。

2	インメ ファイノ	Γı VŒ	-) 基礎分	"一タ作成(」	D) 実行	(<u>E</u>) 設定	E(M)								
	工事名: 〒ストデータ1(SD														
	ファイル名: Fストデータ1(SD									地耐力:	200 kN/m2				
	스	力況	8み基礎:	データリスト	・(データ	故:2)									
			基礎名	出力条件	ax(cm)	ay(cm)	L×(m)	Ly(m)	L×1 (m)	Ly1(m)	TYP	XE			
	5	1	F2	全ケース	600	600	2600	2600	0	1000	独立フーチング		•		
	l	2	F3	全ケース	600	600	2600	2600	0	0	独立フーチング				
		3				٨									
		4													
		5													
		6				7									
		- 7				7									
		8				7									
		9			/										
		10													
	-														
	メインメニューに 戸ろと1 行目に あった F1 のデー														
							~~~ I	1 J H 10	1.1.7 -	1	- L L	<u></u>			
Γ	RST-I	F1 (∄	装礎の設置	メントレン (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	い則除る	きオレてし	いること	ど催託	3760	ことかで	さま	) Co. All right reserved	021201		
Ľ	BOITFIV登曜の記店T/ す。										1100	o oo. miningint reactived.	) 021201		

以上で、データの個別削除の説明は終わりです。

6.4 基礎データの削除(一括削除)

ここで説明する「基礎データの一括削除」は、文字通り、現在入力されている全基礎データをまとめて削除してしまうものです。

現在のサンプルデータは、「6.3 基礎データの削除(個別削除)」で F1を個別に削除したため、F2、F3の2種類のデータしかありませんが、このデータを全て一括で処理してみましょう。 それでは始めます。

	「基礎データ作成」メニューをクリックし、									
メインメニュー ファイル(E) 基礎データ										
エ事名: テスト	☆ データ(SD 「基礎データー括削除」をクリックします。									
ファイル名: Fスト 入力済み基礎デー										
基礎名 ax( 1 F1	工事 ・杭基礎 Ctrl+F2 SI単位) ファイル エキュックター									
2 F2 3 F3	入力済。基礎データの個別削除									
4	オ     基礎データの一括前第二     n)     Lx1 (m)     Ly1 (m)     TYP     メモ       1     F1     600     600     2600     1000     1000     独立フーチング									
6	2         F2         600         600         2600         0         1000         独立フーチング           3         F3         600         600         2600         2600         0         0         独立フーチング									
8										
10										
BST-F1(基礎の										
	終了									
	BST-F1(基礎の設計) ver1.03 http://www.asd.gr.jp support@asd.gr.jp (C)2003 ASD Co. Allright reserved. 030314	F								

ここで指定されたデータを本当に削除しても良いかどうかの確認ダイアログが表示されます。 一度削除したデータをもとに戻すことはできません。

削除の前に、もう一度確認して削除をするか中止するかを決めてください。



メインメニューに戻ると、入力されていた基礎データは全て削除されていることが確認されます。

ファイル(E) 基礎データ作成(D) 実行(E) 設定(M)	基礎データは、全て削除さ								
工事名: (注定) (SI	単位) れています								
	1								
27 172-10 10天定7									
型磁名 出力操作 axicm/ ayicm/ Lxim/ Lyim/ Lxim/ Lyi									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
	[ 続了]								
BST-F1(基礎の設計) ver1.01 http://www.asd.gr.jp support@asd.gr.jp	(C)2002 ASD Co. All right reserved. 021201								

以上で、データの一括削除の説明は終わりです。

<ul> <li>■ なお.</li> <li>■ お手 んで.</li> <li>■ もう診</li> <li>■ でも、</li> </ul>	、数お明読み	つますが、 すが、 てくだ は無く ⁻	では引き ここで さい。 てもでき だ結果	き続き 「5.2 きます; たけ打	残りの 保存 ね。 掲載し	)説明 デージ てお	上、何 タの読 きまし。	Jかと ^ス 記み よう。	下便て	:す。 :って「テン	ストデータ(SI).L	ZH」を読	 み込
<b>9</b> 4	インメニュ ファイル(E エ ファイ 入力)	) 基礎5 事名: 厅 ル名: 厅 済み基礎	データ作成() ストデータ ストデータ データリスト	2) 実行 1(SD 1(SD ・(データ)	( <u>E</u> ) 設定 快:3)	E( <u>M</u> )			(SI単位) 地耐力:	) 200 kN/m2			
		基礎名	出力条件	ax(cm)	ay(cm)	Lx(m)	Ly(m)	L×1(m)	Lx2(m)	TYP	XE		
	1	F1	全ケース	600	600	2600	2600	1000	1000	独立フーチング		<b>_</b>	
	2	F2	全ケース	600	600	2600	2600	0	1000	独立フーチング			
	3	F3	全クース	600	600	2600	2600	0	0	独立フーチング			
	4												
	<u> </u>												
	10												
		THE OFF	=+) 1 01							(0)0000 ACD			
B	51-F16	奎啶の設	at/veri.UI	j nttp:/	/www.asc	i.gr.jp	suppor	twasd.gr.j	P	GIZUUZ ASL	U.C. All right reserved.	021201	

以上で、データの一括削除の説明は終わりです。

6.5 入力データのデータ名(工事名)の変更

			「基礎デ 		成」メニ	ニューを	こクリック	νL、					
メインメニュー ファイル(E)	基礎データ	(HKTO)	実行( <u>E</u> )	設定(M)	)								
工事: ファイル:	名:  〒スト: 名:  〒フト:	√ データ1 (S デ_ ऽन /S	D n				s)	単位) に事名の	の修正」を	・クリックしま	ŧţ.		
入力済 <i>й</i> 1 F 2 F 3 F	ファイル(E) 工業 ファイル ファイル 入力済	- 基礎デ ・独: 事 ・杭: レ 工事 彩 基礎	[*] ータ作成( 立フーチング 基礎 ・名の修正 話	D) 実行 7基礎	(E) 設) Ctrl+F1 Ctrl+F2				(SI単位)				
4	1		データの一 データの一 600	·括削除… 600	2600	ก) 2600	L×1(m) 1000	Ly1(m) 1000	TYP 独立フーチンク	メモ *		÷	1
6	2	F2 F3	600 600	600 600	2600 2600	2600 2600	0	1000 0	独立フーチンク 独立フーチンク	14 14			1
9	4												
	6												
	8												
BST-													
											終了		
	BS	T-F1(基础	楚の設計)	ver1.03	ht	tp://wwv	v.asd.gr.jp	support	@asd.gr.jp	(C)2003 ASD	Co. Allright re	eserved.	030314

すると、「工事名」、「ファイル名」、「使用単位」を設定するフォームが表示されます。 しかし、ここでは「工事名」の入力についてのみ記述します。

それ以外の「ファイル名」、「使用単位」につきましては、それぞれ「6.6 入力データを記録するときのファ イル名の変更」もしくは「6.7 入力データの単位系の変更」を参照してください。



жC	בבאי											
77'	ſル(E	) 基礎5	"一夕作成(]	D) 実行	( <u>E</u> ) 設定	È( <u>M</u> )						
	I	事名: 仄	力練習新聞	築工事					(SI単位)	)		
-	ファイ	ル名: 庁	ストナータ	าเริ่ม					地耐力:	200 kN/m2		
	入力》	う 済み基礎:	データリスト	-(データ	数:3)							
		基礎名	出力条件	ax(cm)	ay(cm)	Lx(m)	Ly(m)	Lx1(m)	Ly1(m)	TYP	XE	
	1	F1	全ケース	600	600	2600	2600	1000	1000	独立フーチング		
	2	F2	全ケース	600	600	2600	2600	0	1000	独立フーチング		
	3	F3	全ケース	600	600	2600	2600	0	0	独立フーチング		
	4											
	5											
	6											
	7											
	8											
	9											
	10											
											終了	
BST	-F16	基礎の設	+) ver1.01	http:/	/www.asc	l.gr.jp	suppor	t@asd.er.i	p	(C)2002 ASE	) Co. All right reserved.	021201

以上で、「入力データのデータ名(工事名)の変更」の説明は終わりです。

6.6 入力データを記録するときのファイル名の変更

「入力データを記録するときのファイル名の変更」は、「6.5 入力データのデータ名(工事名)の変更」や 「6.7 入力データの単位系の変更」と同様に、メインメニューの「工事名の変更」メニューで行います。

従って、「工事名の変更」フォームが表示されるまでの操作は、前述の、「6.5 入力データのデータ名(工 事名)の変更」と同じですのでそちらを参照してください。

ここでは「工事名の変更」フォームが表示された後の説明で、「ファイル名」の入力についてのみ記述します。

それ以外の「工事名」、「使用単位」につきましては、それぞれ「6.5 入力データのデータ名(工事名)の変 更」もしくは「6.7 入力データの単位系の変更」を参照してください。



このファイル名は、データを保存するときに、自動的に保存ファイル名として設定されます。 もちろん、保存時にファイル名を変更することもできます。 ここで参考のため、データ保存画面を出して見ましょう。



以上で、「入力データを記録するときのファイル名の変更」の説明は終わりです。

#### 6.7 入力データの単位系の変更

「入力データの単位系の変更」は、「6.5 入力データのデータ名(工事名)の変更」や「6.6 入力データを 記録するときのファイル名の変更」と同様に、メニューの「工事名の修正」フォームで行います。

従って、「工事名の修正」フォームが表示されるまでの操作は、前述の、「6.5 入力データのデータ名(工 事名)の変更」と同じですのでそちらを参照してください。

ここでは「工事名の修正」フォームが表示された後の説明で、「<u>単位系の変更」についてのみ記述</u>します。

それ以外の「工事名」、「ファイル名」につきましては、それぞれ「6.5 入力データのデータ名(工事名)の 変更」もしくは「6.6 入力データを記録するときのファイル名の変更」を参照してください。



取り敢えず、これで単位系の変更はできましたが、ここで注意が必要です。 単位系を変更したときは、以下の点を注意してください。(重要)

重要	
■ 単位系を変更した場合、その単位系が反映されるのは、最後に単位系を指定した以降に入力し	
た基礎データに対してのみです。	
■ すでに基礎データが入力されている状態で単位系を変更した場合は、それら入力済みの基礎デ	
ータに関しては、単位系の表示は変わっても、入力値はもとのままで単位間による自動変換をさ	
れていません。またしません。	
従って単位を変更したときは、必ずその時点で入力済みのデータに関しては全て入力値を調整	
しなければいけません。	
■ 以上から、基本的には入力単位はデータを入力し始める前に一度設定し、やむを得ない場合を	
除いて入力中に変更するものではありません。	

以上で、「入力データの単位系の変更」の説明は終わりです。

# 7. マスターデータの設定(材料強度・サイズ等に関するファイル)

マスターデータはBST-F1を実行するために必要な標準データで、普段はほとんど変更する必要のないものです。

これらのデータは、BST-F1をインストールしたときに自動的に組み込まれていますので、インストール直後でもお客様が設定する必要のないものと、使用に際して最初にお客様の環境に合わせてお客様が設定するものが有ります。

インストール直後でもお客様が設定する必要のないものには、

- 鉄筋強度マスターファイル
- 鉄筋サイズマスターファイル
- コンクリート強度

があります。

また、使用に際して最初にお客様の環境に合わせてお客様が設定するものには、

- コントロールマスターファイル
   (「キーアクション設定ファイル」と「キャンセル処理時の設定ファイル」)
- 共通データの設定ファイル

がありますが、これらは「8. コントロールファイルの設定(キー操作に関する設定)」および「9. データ入力 支援用補助ファイルの設定」で説明していますので、そちらを参照してください。

以下、ここでは「鉄筋強度マスターファイル」と「鉄筋サイズマスターファイル」と「コンクリート強度の設定フ ァイル」の3種類のマスターファイルのメンテナンスについての説明します。

#### 7.1 鉄筋強度マスターファイルのメンテナンス

ここでは使用できる鉄筋の種類とその強度が記録されています。

メンテナンスが必要な場合は、以下の操作で行ってください。

メインメニュー ファイル(E)	基礎データ作成(D) 実行(	E) 設定( <u>M)</u>					■ メイン> をクリッ	メニュー画面の< ックし、	:設定>メニュ	
工事:	名: 入力練習新築工事	W		(CGS単	位)					
ファイル	34\73=1-									
入力済み	ファイル(E) 基礎データ作	成( <u>D</u> ) 実行( <u>E</u> )	設定(M)							
基 1 F ⁻	工事名: 仄力練習	新築工事	鉄筋強度、 鉄筋サイズ	778-			「 〈鉄筋強	度マスター>を	 クリックしてく	だ
2 F	ファイル名: 仄力練習	副新築工事	コンクリート語	健度について		_ 力:	さい。			
3 F	入力済み基礎データ	ノスト(データ数:(	共通値の登	録	Ctrl+C					
4	基礎名 出力調	≹件 ax(cm) ay(	キーアクショ	2	Ctrl+K	n)	ТҮР	XE		
6	<u>1 F1</u> 全ケー	7 600	キャンセル時	物メッセージ		000	独立フーチング			
7	<u>2 F2</u> 全ケー 2 F2 全ケー	X 600	600 2600	2600	0	1000	独立フーナング			
8	3 F3 ±9-	× 000	000 2000	2000	U	0	1527-777			
9	5									
10	6									
	7									
	8									
	9									
BST-F1(基础	10									
<u>c</u>								禄丁		
	BST-F1(基礎の設計) ver	1.01 http://ww	ww.asd.gr.jp	support@	asd.gr.jp		(C)2002 ASD	Co. All right reserved	. 021201	

ASD Co. & ASD Laboratory

- 鉄筋強度のマスターファイルが表示されますので、必要に応じてその値を変更してください。
- 入力セルに目的の値を入力し、〈Enter〉, 〈→〉, 〈←〉, 〈↑ 〉または〈↓〉キーでカーソル間の移動をしてください。
- <Enter>, <→>, <←>, <↑>または<↓>キーを押したときの動作の確認は、それらのキーを押して操作に慣れてください。
- また、〈Enter〉, 〈→〉, 〈←〉, 〈↑〉または〈↓〉キーを押したときのカーソルの移動に付いては、〈キーア クション設定〉ボタンをクリックすることで設定することもできますが、ここではその説明は割愛します。 詳しくは後述の「8.1 キーアクションの設定」を参照してください。

鉄筋材	筋強度を登録す	る画面					
Г	材料	呼称	長期(CGS)	短期(CGS)	長期(SI)	短期(SD	備考
-	1 異形鉄筋	SR235	1600	2400	160	235	
	2 異形鉄筋	SR295	1600	3000	160	295	
	3 異形鉄筋	SD235	2000	3000	200	295	
	4 高張力異形鉄筋	SD345	2000	3500	220	345	
	5 高張力異形鉄筋	SD390	2000	4000	220	390	
	6 高張力異形鉄筋	SD345	2000	3500	200	345	
	ヤング係数 SI単位  21 CGS単位  2100 /	N/mm t/cm2				+	ーアウション設定 キャンセル 登録
SI単位、CGS単位での、それ ぞれのヤング係数です。	くEnter>, <- ときのカーン ます。 詳しくは後述 してください	→>, <←>, < ハルの移動は 述の「8.1 キ	(↑)またに こついてアクシ	よく↓>キ- 設定する ョンの設;	∠ ーを押した ことができ 定」を参照		

以上で、「鉄筋強度マスターファイルのメンテナンス」の説明は終わりです。

7.2 鉄筋サイズマスターファイルのメンテナンス

ここでは使用できる鉄筋のサイズに関するデータが記録されています。 メンテナンスが必要な場合は、以下の操作で行ってください。

		•			00084					
	、力練習新築工事 				(CGS単位)					
ノアイルンメインコ	メニュー 川(F) 基礎学、均佐学(		C) =0-	200						
	7011/ 空地建す 一次11年63,1	② 天门(	ビ/ 目式ス 彩	∈\凹/ 失筋強度マスタ	_					_
1 F1	工事名: 入力練習新	築工事	ŝ	失筋サイズマスク	~		_ 〈鉄筋⁺	サイズマフ	マター>をクリ	ックして
2 F: 7	ァイル名: 入力練習新	築工事		レクリート強度	2002		ださい			
3 F 7	、力済み基礎データリス	ト(データ数	t: 8	も通値の登録	Ctrl+	c		)		
4	基礎名 出力条件	ax(cm)	ay( 🔺	ミーアクション	Ctrl+	K n)	TYP	XE		<u> </u>
5	1 F1 全ケース	600	*	Fャンセル時のメ	ッセージ	b00	) 独立フーチング			<u> </u>
7	2 F2 全ケース 2 F2 全ケース	600	600	2600	2600 0	1000	) 独立フーチング ) 独立コーモッグ			
8	4 ± 1 - X	000	000	2000	2000 0	U	11111-777			
9	5									
10	6									
	7									
	8									
	9									
B21-FIG	10									
BST-	・F1(基礎の設計) ver1.01	1 http://	www.asi	d.gr.jp su	upport@asd.gr.j	P	(C)2002 ASI	D Co. All right 形鉄笛ング	reserved. (	021201
BST- 鉄筋	F1(基礎の設計) ver1.01 種類 鉄筋種類	1 http://	www.asi	d.er.jp su at(cm2)	upport@asd.gr.j ψ(cm)		(C)2002 ASI	D Co. All right 形鉄筋>の	reserved. (	
BST- 鉄節	F1(基礎の設計) ver1.01 5種類 鉄筋種類 異形鉄筋	1 http://	www.asr 称	der.jp st at(cm2) 0.32	pport@asd.gr.j ψ(cm) 2		(C)2002 ASI	D Co. All right 形鉄筋>の	reserved. (	
BST- 武東前	F1(基礎の設計) ver1.01 i種類 鉄筋種類 異形鉄筋 丸綱	1 http://	www.asr 称 3	der.jp st at(cm2) 0.32 0.5	pport@asd.gr.j ψ(cm) 2.5		(C)2002 ASI	D Co. All right 形鉄筋>の	reserved. (	
BST- 鉄節	F1(基礎の設計) ver1.01 種類 鉄筋種類 異形鉄筋 丸綱	1 http://	(www.asc 称 3 10	der.jp st at(cm2) 0.32 0.5 0.713	pport@asd.gr.j ψ(cm) 2 2.5		(C)2002 ASI	D Co. All right 形鉄筋>の	reserved. (	
BST- 鉄節	F1(基礎の設計) ver1.01 種類 鉄筋種類 異形鉄筋 丸綱	1 http://	www.aso 称 3 10 13 16	der.jp su at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98	pport@asd.gr.j ψ (cm) 2 25 4 5		(C)2002 ASI	D Co. All right 形鉄筋>の	reserved. (	
BST- (鉄) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	F1(基礎の設計) ver1.07 通程類 鉄筋種類 丸調 鉄筋種類を	1 http://	www.asi 称 3 10 13 16 19	der.jp st at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85	μport@asd.gr.j ψ (cm) - 2 - 2.5 - 4 - 4 - 5 - 6		(C)2002 ASI	D Co. All right	reserved. 1	
BST- まず ここで対象とする。 切り替えるころが-	F1(基礎の設計) ver10 が種類 異形鉄筋 丸綱 鉄筋種類を できます。	1 http://	www.ase 称 3 10 13 16 19 22	der.jp st at(cm2) 0.32 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88	pport@asd.gr.j ψ (cm) - 2 - 2.5 4 5 6 7		(C)2002 ASI 〈異; +	D Co. All right 形鉄筋>の して して して して して の	reserved 「 ンデータリスト	221201
BST- ま 第 ここで対象とする 切り替えるころが	F1(基礎の設計) ver10 種類 異形鉄筋 丸綱 鉄筋種類を できます。	1 http://	www.ase 称 3 10 13 16 19 22 25	der.jp st at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(cm2) at(c	μport@asd.gr.j ψ (cm) 2 25 4 5 6 7 8		(C)2002 ASI 〈異:	D Go. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照	)データリスト )データリスト )[8.1 キーン してください。	221201 - - アクショ
BST- ま の ま ま の ま こ こ で 対象とする の 切り替えるころが-	F1(基礎の設計) ver101 通知 発筋種類 異形鉄筋 丸鋼 鉄筋種類を できます。	I http://	www.ass 称 3 10 13 16 19 22 25 29	der.jp s at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41	μport@asd.gr.j ψ (cm) 2 25 4 5 6 7 8 9		(C)2002 ASI く異; よー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照	)データリスト )データリスト )「8.1 キーン してください。	D21201
BST- ま 第 ここで対象とする 切り替えるころが ⁻	F1(基礎の設計) ver101 通知 其筋種類 異形鉄筋 丸綱 鉄筋種類を できます。	I http://	(www.as) (物本) (物本) (本) (	der.jp st at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41	μport@asd.gr.j ψ (cm) - 2 - 25 4 5 6 7 8 9		(C)2002 ASI 〈異; 上 詳しく の設定 登録	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照	)データリスト )データリスト )「8.1 キーン してください。	D21201
BST- 鉄筋 ここで対象とする 切り替えるころが一	F1(基礎の設計) ver1.07 通程類 鉄筋種類 丸鋼 鉄筋種類を できます。	■ http:// ■ 呼 1 0 2 0 3 0 4 0 5 0 6 0 7 0 8 0 9 0 2 9 0 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	www.asi 称 3 3 10 13 13 16 6 9 9 22 25 29 29 29	der.jp st at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41	μport@asd.gr.j ψ (cm) - 2 - 2.5 4 4 5 6 7 8 9		(C)2002 ASI 〈異; 上 詳しく の設) 登録	D Co. All right 形鉄筋>の して、 は後述の 定」を参照	)データリスト )データリスト )「8.1 キーン してください。	121201 
BST- ま 第 ここで対象とする 切り替えるころが一	F1(基礎の設計) ver1.07 通知 鉄筋種類 具形鉄筋 丸綱 鉄筋種類を できます。	1 http://	www.asi 称 3 3 10 13 13 16 6 13 13 16 6 22 25 5 29 22 25 5 29 9	der.jp su at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41	pport@asd.gr.j ψ (cm) - 2.5 4 5 6 7 8 9 9		(C)2002 ASI く異;	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照 cm)	アデータリスト       アデータリスト       アデータリスト       レデータリスト	021201
BST- まず ここで対象とする 切り替えるころが-	F1(基礎の設計) ver10 種類 異形鉄筋 丸綱 鉄筋種類を できます。	1 http:// 1 DT 2 DE 3 DT 4 DT 5 DT 6 DT 7 D2 8 D2 9 D2 9 D2 9 D2	www.ass 称 3 3 10 13 16 9 9 22 25 29 25 29 29 25 29 29 22 25 29 22 25 29 22 25 29 22 25 29 22 25 29 22 25 29 22 22 25 22 25 22 25 25 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3	der.jp st at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41	pport@asd.er.j ψ (cm) 2 25 4 5 6 7 8 9 9 1 配 4		(C)2002 ASI 〈異:	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照	: reserved     1       )データリスト       )「8.1 キーごしてください。	D21201 アクショ 。
BST- ま) ここで対象とする。 切り替えるころが く丸鋼>をクリック	F1(基礎の設計) ver10 種類 異形鉄筋 丸鋼 鉄筋種類を できます。 すると、丸	1 http://	(www.ass (www.ass (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed) (massed)	der.jp st at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 2.85 3.88 5.07 6.41 鉄筋 綱	pport@asd.gr.j ψ (cm) 2 25 4 5 6 7 8 9 9 野称 1 € 2 R6		(C)2002 ASI く異; (く異) 詳しくの設行 登録 ((cm2) 単( 0.13 0.28	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照 1.26 1.88	reserved ( )データリスト )「8.1 キーン してください。	021201 
BST- ま) ここで対象とする? 切り替えるころが く丸鋼>をクリック 鋼のデータリスト;	FT(基礎の設計) ver107 通知 其筋種類 異形鉄筋 丸鋼 鉄筋種類を できます。 すると、丸 が表示され	1 http://	www.ass 称 3 3 10 13 3 6 6 9 9 22 25 5 29 25 5 29 また 第 集務 集務 集務 第 二 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	der.jp su at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41 \$\$\$\$\$5 \$\$\$\$	pport@asd.gr.j ψ (cm) - 2 - 25 4 5 6 7 8 9 9 ■ 単称 1 配 2 R6 3 R8		(C)2002 ASI く異; 詳しくの設定 登録 t(cm2) 単( 0.13 0.28 0.5	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照 1.26 1.88 2.51	)データリスト )データリスト )「8.1 キーン してください。	D21201 アクショ 。
BST- ます して まま して まま して 大師 ここで 対象とする ら なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ して う なっ し つ して う い っ して つ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して う い っ して し し っ して っ して っ して っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ つ し っ う し っ し っ し っ し っ し っ し っ つ し っ し っ つ し っ つ し っ し っ ら っ し っ し っ し っ っ し っ し っ し っ っ し っ っ し っ っ っ っ ら っ し っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ	FT(基礎の設計) ver10 通知 其筋種類 丸綱 鉄筋種類を できます。 すると、丸 が表示され	1 http://	www.ass 称 3 3 10 13 3 6 6 9 9 22 25 29 29 29 29 29 27 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	der.jp su at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41	pport@asd.gr.j 少(cm) - 2 - 2.5 4 5 6 7 8 9 9 1 尾4 2 R6 3 R8 4 89		(C)2002 ASI く異; (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二)	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照 1.26 1.88 2.51 2.83	)データリスト )データリスト )「8.1 キーン してください。	D21201
BST- ます。 BST- ます。 BST- BST- BST- BST- BST- BST- BST- BST-	FT(基礎の設計) ver10 通知 其筋種類 異形鉄筋 丸鋼 鉄筋種類を できます。 すると、丸 が表示され	I http://	www.ass 称 3 3 10 13 16 13 16 13 22 25 29 25 29 25 29 27 1 九	der.jp su at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41	pport@asd.gr.j 少 (cm) 2 2.5 4 4 5 6 7 8 9 9 5 R12		(C)2002 ASI (集) (上) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 主」を参照 1.26 1.88 2.51 2.83 3.77	reserved () )データリスト )「8.1 キーン してください。	121201 アクショ 。
BST- ます。 BST- ます。 BST- BST- BST- BST- BST- BST- BST- BST-	FT(基礎の設計) ver10 通知 鉄筋種類 丸綱 鉄筋種類を できます。 すると、丸 が表示され	I http://	www.ass 称 3 3 10 13 6 6 9 9 22 25 29 22 25 29 2 2 5 2 2 9 1 九	der.jp su at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41	pport@asd.gr.j ψ (cm) - 2 - 2.5 4 4 5 6 7 8 9 9 5 8 4 8 9 5 8 4 8 5 8 4 8 5 8 6 7 8 9 5 8 4 8 5 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		(C)2002 ASI (く異) (く異) (C)2002 ASI (小田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照 1.26 1.88 2.51 2.83 3.77 4.08	reserved ( )データリスト )「8.1 キーン してください。 キーアウション設	D21201 アクショ 。 定 正
BST- ます。 BST- ます。 BST- ます。 BST- の ます。 BST- の の た の た の の た す る に の な な た す る に の が や た す る に の が や す る に の が つ の た す る に の が つ の た す る に の が つ の た す る に の が つ の た す る に の が つ し つ の た す る に の い つ た す る に の い つ た す る に の い つ た う い つ た つ ろ が つ の た う い つ た つ ろ い つ た つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ら ろ が つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ろ が つ こ ろ ろ い つ た 、 こ ろ こ ろ が つ こ こ ろ が つ こ ろ ろ い つ こ ろ ろ い つ た 、 こ ろ ろ い つ た 、 ま つ こ ろ ろ い つ た 、 ま す 。 、 、 ろ こ ろ ろ い つ う つ し ろ つ し つ し つ し つ し つ し つ し つ し つ し つ ろ こ ろ ろ い つ こ ろ ろ い つ こ ろ つ う つ つ ろ つ つ ろ つ し つ つ ろ つ つ ろ つ ろ つ つ ろ つ つ ろ つ つ つ つ ろ つ つ つ つ つ つ つ つ ろ つ つ つ ろ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ ろ つ つ つ つ つ つ つ つ ろ つ つ こ つ ろ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	FT(基礎の設計) ver10 通知 鉄筋種類 具形鉄筋 丸綱 鉄筋種類を できます。 すると、丸 が表示され	I http://	www.asi 称 3 3 10 13 16 6 22 25 25 29 至 2 5 5 2 9 二 3 10 13 13 16 6 13 16 13 16 22 25 25 29 1 二 3 1 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	der.jp su at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41	pport@asd.gr.j 少(cm) - 2 25 4 4 5 6 7 8 9 9 1 配 4 5 6 7 8 9 9 5 8 4 8 9 5 8 4 8 9 5 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		(C)2002 ASI (人男: ) (人男: ) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の設定) (人の) (人の) (人の) (人の) (人の) (人の) (人の) (人の	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照 1.26 1.88 2.51 2.83 3.77 4.08 5.03	reserved ( )データリスト )データリスト してください。 キーアウション設 キャンカル	121201 アクショ 。 「定
BST- ます。 (見新) をクリック 鋼のデータリスト; ます。	FT(基礎の設計) ver10 通知 鉄筋種類 異形鉄筋 丸綱 鉄筋種類を できます。 すると、丸 が表示され コスト	■ http:// ■ 呼 1 00 2 06 3 01 4 01 5 01 6 01 7 02 8 02 9 02 ■ またが 1	www.ass 称 3 3 10 13 16 19 22 25 25 29 25 29 22 25 29 2 2 5 5 2 9 2 2 5 2 2 9 2 2 5 5 2 9 2 2 5 5 2 9 2 2 2 5 5 2 2 5 5 5 5	der.jp s at(cm2) 0.32 0.5 0.713 1.27 1.98 2.85 3.88 5.07 6.41 \$\$\$\$\$\$ \$\$\$\$\$ \$\$\$\$\$	φροτt@asd.gr.j ψ (cm) - 2 25 4 5 6 7 8 9 9 1 2 R6 3 R8 4 R9 5 R12 6 R13 7 R16 8 R19 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		(C)2002 ASI (く異) (く異) (ご) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の	D Co. All right 形鉄筋>の には後述の 定」を参照 1.26 1.88 2.51 2.83 3.77 4.08 5.03 5.97 9.97	reserved ( )データリスト )データリスト してください、 キーアウション設 キャンセル	D21201

以上で、「鉄筋サイズマスターファイルのメンテナンス」の説明は終わりです。

7.3 コンクリート強度についての設定

ここでは使用するコンクリート強度に関するデータが記録されています。 メンテナンスが必要な場合は、以下の操作で行ってください。

メインメニュー ファイル(E)	基礎データ作成( <u>D</u> )	実行(E)				(005)			メインメ クリック	ニュー画面のく設し、	定>メニュー	ーを
工事4 ファイル: 入力済み 1 F	3: 「入力練習新築」 メインメニュー ファイル(F) 基礎: 工事名: 「 ファイル名: 「	[事 データ作成( <u>[</u> 、力練習新餐 、力練習新餐	)) 実行(E ※工事 ※工事	〕 設定 鉄 鉄	( <u>M</u> ) 筋強度マ 筋サイズマ	(CGS) スター マスター		〕 〕 」	き 〈コンク	リート強度につい	へて>をクリック	) クレ
2 1 3 F ² 5 6 7 8 9 10	入力済み基礎 基礎名 1 F1 2 F2 3 F3 4 5 6 7 7 8	データリスト <u>出力条件</u> 全ケース 全ケース 全ケース	<ul> <li>(データ数 a×(cm) a</li> <li>600</li> <li>600</li> <li>600</li> </ul>	::3 共 () () () () () () () () () ()	通値の登 ーアクション ャンセル時 2600 2600	緑 かメッセー 2600 2600	Ctrl+C Ctrl+K 9 0	100	Cく/こさ TYP D 独立7ーチンゲ D 独立7ーチンゲ D 独立7ーチンゲ	XT.		
BST-F1(基础	<u>10</u> BST-F1(基礎の設	급†) ver1.01	http://v	www.asd.	er.jp	support	@asd.gr.jp		(C)2002 AS	〔終了 D Co. All right reserved.	021201	

最初はSI単位での基準強度について表示されます。 ここで、どの基準式を使用するか指定してください。

		0 こちらを使用する		0.75	らを使用する	<ul> <li>一日・</li> <li>〇二ちらを使用する</li> </ul>	1	
	長期		短期		長期	長期		
圧縮引	長期 E縮強度 1/3 Fc		2 倍		$\frac{1}{3}Fc$	$\frac{1}{3}Fc$		
せんき	ћ	1 30 Fc ליים 0.5 + 1 100 Fc ארא דען	▼ 1.5 倍	-	1 30 Fc	$\frac{1}{30}Fc$		
4#	上端	$0.8 \times \left(\frac{Fc}{60} + 0.6\right)$		22.5以下 <u>1</u> 15 ^{Fc}	22.5  W.E $0.9 + \frac{2}{75}Fc$		2倍	
11/78	そ の 他	$\frac{F_C}{60} + 0.6$	- 1.5 IA	$\frac{1}{10}Fc$	$1.35 + \frac{1}{25}Fc$	0.7		
ヤング	· デ係数	$V: Y_{CR} = 3.35 \times 10^4 \times \left(\frac{\gamma}{10^2}\right)^2$	$\left(\frac{Fc}{Fc}\right)^{\frac{1}{3}}$					

どの基準式を使用するか指

定してください。

CGS 単位につきましては、タブを切り替えることで指定できます。 CGS 単位では、長期に対する短期の倍率を指定してください。



以上で、「コンクリート強度についての設定」の説明は終わりです。

## 8. コントロールファイルの設定(キー操作に関する設定)

#### 8.1 キーアクションの設定

ここでは、表形式の画面で入力をするとき、〈Enter〉、〈→〉、〈←〉、〈↑〉または〈↓〉キーを押したときのカ ーソル移動の動作についての設定をします。

メインメニ	1-														メイン	メニュ・	一画面	iのく	設定>	メニュ	]
ファイル(	E) 基	礎デー	- 匆作	成( <u>D</u> )	実行(E) 誤	(r)	_								たカル	5.万]					
L	事名:	丙	練習	新築工業	<b></b>	-VS			(CGS単	位〉					2793	99 C.					
ファー	(ル名;	因力	値習	新築工業	\$				地耐力:	200 t/m2											
入力	済みま	メインス	×⊂1	-																	
	基礎	771	μŒ	) 基礎:	データ作成(ロ	<u>)</u> )実行	( <u>E</u> ) []3	(定(M)			_										
	1 F1		I	事名: 🏼	し 力 練 習 新	<b>築工事</b>	_	鉄筋強度マ 鉄筋サイズ:	スター マスター		6単	1位)									
	2 F2 3 F3	7	アイノ	ル名: 🏿	し力練習新聞	築工事		コンクリート引	態度につい	τ	p	: 200	) t/m2								
	4	2	の道	み基礎	データリスト	(デーダ	故: 8	共通値の登	緑	Ctrl+C	E										
	5	_		基礎名	出力条件	ax(cm)	ay(c	キーアクション		Ctrl+K	n)	TYF	P	жŧ							
	6	_	1	F1	全ケース	600		キャンセル時	初ジャセー	)		0 独立	立フーチング				<b>_</b>				
	7	-	2	F2	全ケース	600	60	0 2600	2600	6	7000	0 独立	立フーチング								
	8	-	3	F3	全ケース	600	60	0 2600	2600	0			セマーチング								
	9	-	4										$\sim$	-							
		-	5					_				_									
		-	5									-									
		-										-			_						
		-	9									-	<	〈牛・	ーアク	ション〉	をクリッ	ックし	してくた	ごさい。	
BST-F1	(基礎(	-	10									-						_			
		L																			
																終了					
	l	BST-	F1 🤇	基礎の設	計) ver1.01	http:/	/www.a:	sd.gr.jp	support	t@asd.er.jp		(C)	)2002 ASD	) Co. /	All right re	served.	021201				

- 以下のような設定画面が表示されますので、ここでキーアクションを指定してください。
- 選択は、下図の3種類の中から選択します。
- なお、初期設定では3種類のうちのどれにもチェックは入っていません。
- 設定画面は、その役目から上下2段に分かれており、上段はキーアクションの設定を、下段はその 設定内容をその場で試すことができます。
- 設定内容につきましては、いろいろ試してみてください。その方が文字による説明を読むよりわかり やすいと思います。



以上で、「キーアクションの設定」の説明は終わりです。

#### 8.2 キャンセル処理時の設定

ここでは、一部を除く各入力フォームで<キャンセル>ボタンがクリックされたとき、その都度キャンセルに ついての警告メッセージを表示するかどうかを設定します。

キャンセル時の警告メッセージも親切で、それはそれで良いのですが、慣れてくると煩く感じるときもありますね。ま、好きなほうに設定してください。

内容は以下のとおりです。



ー度戻ったので、再びこの画面からです。	■ キャンセル時設定	<u>_                                    </u>
	◎ キャンセル時に確認メッセージを表示する	
	○ キャンセル時に確認メッセージを表示しない	
	<u>キャンセル</u> 登録	
	■、キャンセル時設定	
今度は「キャンセル時に確認メッセージを表示しない」をチェックし、	<ul> <li>○ キャンセル時に確認メッセージを表示する</li> <li>○ キャンセル時に確認メッセージを表示しない</li> </ul>	>
〈登録〉ボタンをクリックしてみましょう。	 キャンセル 登録	

すると、キャンセル時にメッセージを表示するかどうかの設定を終了し、メインメニューに戻りますので、本 当に設定されたかどうか試してみましょう。

再び、メインメニューから〈キャンセル時のメッセージ〉をクリックしてください。

1	メインメニュー								
	ファイル(E) 基礎データ作成(D)	) 実行(E) 影	(定( <u>M</u> )						
	工事名: 人力練習新築	紅事	鉄筋強度マ 鉄筋サイズマ	スター 7スター		3単(	立)		
	ファイル名: 入力練習新算	[[]]	コンクリート強	腹について		⁻ 力:	200 t/m2		
	入力済み基礎データリスト(	(データ数:3	共通値の登	録	Ctrl+C				
	基礎名出力条件。	ax(cm) ay(	キーアクション	,	Ctrl+K	- n)	TYP	<del>У</del> Е	L.
	1 F1 至りース 2 F2 全ケース	000 600	キャンセル時 11 2600	のメッセージ 26001		1000	独立フーチノリ		
	3 F3	00 60	0 2600	2600	0	0	独立フーチング		
〈設定〉→〈キャンセル時の	)メッセージ〉クリック	しま							
す。									
	9 10								
								<u></u>	
	BST-F1(基礎の設計) ver1.01	http://www.a	sd.gr.jp	support@	≬asd.gr.jp		(C)2002 ASD	Co. All right reserved.	021201
	BST-F1(基礎の設計) ver1.01	http://www.a	sd.er.jp	support@	Pasd.gr.jp ≣∿⇔		(C)2002 ASD	Co. All right reserved.	021201
この設定画面が表示され	BST-F1(基礎の設計) ver1.01 たら(「キャンセル時	http://www.a	sd.gr.jp	support@ ?ンセル時	Pasd.gr.jp 設定		(C)2002 ASD	Co. All right reserved.	021201
この設定画面が表示され、	BST-F1/基礎の設計) ver1.01 たら(「キャンセル時 _ない」にチェックが	http://www.a	sd.er.jp	support@ rンセル時	Pasd.gr.jp 設定 ャンセルB	寺に確	(C)2002 ASD (C)2002 ASD	) Co. All right reserved   ジを表示する	021201
この設定画面が表示され に確認メッセージを表示し 入っていますね)、	BST-F1(基礎の設計) ver1.01 たら(「キャンセル時 、ない」にチェックが	http://www.a	sd.ør.jp	support@ <->セル時 〇 キ ~ ・キ	Pasd.gr.jp 設定 キンセルB キンセルB	寺に確	(C)2002 ASD 2回スッセー: 2回スッセー:	Co. All right reserved.  ジを表示する ジを表示しない	021201
この設定画面が表示され、 に確認メッセージを表示し 入っていますね)、	BST-F1(基礎の設計) ver1.01 たら(「キャンセル時 、ない」にチェックが	http://www.a	sd.er.jp	support@ < <u>       <br< u=""></br<></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></u>	Pasdgr.jp 設定 ャンセルB ャンセルB	ने टक्वे ने टक्वे	(C)2002 ASD 記以ッセー: 記以ッセー:	Co. All right reserved.  ジを表示する ジを表示しない	021201
この設定画面が表示され に確認メッセージを表示し 入っていますね)、	BST-F1(基礎の設計) ver1.01 たら(「キャンセル時 .ない」にチェックが	http://www.a	sd.ør.jp	support@ 《ンセル時 〇 キ ~ ④ キ	Nasder.jp 設定 ヤンセルM ヤンセルM	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	(C)2002 ASD (記メッセー: ) (記メッセー:	Co. All right reserved 「 でを表示する でを表示しない	021201
この設定画面が表示され、 に確認メッセージを表示し 入っていますね)、	BST-F1(基礎の設計) ver1.01 たら(「キャンセル時 」ない」にチェックが	http://www.a	sdgr.jp	support@ ◇セル時 ○ キ ~ ● キ	Pasder.jp 設定 ヤンセルM ヤンセルM	寺) こ確 寺) こ確	(C)2002 ASD 部況メッセー: 部況メッセー:	<ul> <li>Co. All right reserved.</li> <li>()</li> <li>()</li></ul>	021201

すると、今度は何の警告も無くメインメニューにもどりましたね。 どうやら、「キャンセル時に確認メッセージを表示しない」が利いているようです。

以上で、「キャンセル処理時の設定」の説明は終わりです。

# 9. データ入力支援用補助ファイルの設定

9.1 共通データの設定

「共通データ」とは何か?

- 共通データは、新しく基礎データを作成するときに、どのデータにも取り敢えず最初の段階で自動的に入力される値です。
- 例えば、基礎を設計するとき、一工事中のデータであれば地耐力は全て同じ場合がほとんどだと 思います。
- このような場合は、地耐力の共通値を設定しておけば、基礎のデータを作成するたびにその共通 値が自動的に入力されるので、いちいち入力しなくても済みますので大変便利です(必要であれ ば、基礎データの入力時に地耐力の入力項がありますので、そこで個別に入力することもできま す)。
- 地耐力のほかにも、共通値として設定できる項目は色々あり、基礎のデータ作成を楽なものにしています。
- 共通データは SI 単位系での値と CGS 単位系での値の2種類について入力できます。
- 共通データは、BST-F1 として一組の値しか記憶できません(工事ごとの共通値としては記録されません)。
- 従って最後に設定された共通値が、BST-F1を使用する時点での共通値になります。
- 共通値は、いつでも、何度でも状況に合わせて自由に変更(設定)できます。
- 例えば、同一工事内で 10 種類の基礎を入力するとき、最初の5種類の地耐力は 150kN/m² で、 残りの5種類の地耐力は 200kN/m²といったケースでは、最初は地耐力の共通値を 150kN/m² で 入力したあと、ここで地耐力の共通値を 200kN/m²に変更し、そのあと残りの 5 種類のデータを入 力する、といったこともできます。

「共通データ」についてお分かりいただけましたか。

それでは以下に「共通データ」の設定方法について説明します。 安心してください。今まで同様、操作は簡単です。

	メインメニュー画面の<設定>メ
	ニューをクリック
工事名: 入力練習新築工事	(CGS単位)
	2EM175. 200 0 M2
(刀済み)メインメニュー コーイル(F) 基礎ポート(たまか) また(F) 読む(A)	n
	//
1 F1 工事名: 入力練習新築工事	速度マスター サイズマスター 単位)
	1 1 24 m + 200 + /m2
3 F3 コンクリー 3 F3 コンクリー	リート強度について 5.1.200 0 m2
4 人力済み基礎テータリスト(テータ数: と 共通値	値の登録 Ctrl+C
5 基礎名 出力条件 ax(cm) ay(x キーア)	7/5/32 W W TYP XE
<u>6</u> 1 F1 全ケース 600 キャンセ	セル時のメッセージ
7 2 F2 全ケース 600 600 2	2600 2600 0 モング
8 3 F3 全ケース 600 600 2	
9 4	<共通値の設定>をクリックしてください。
10 5	
6	
7	
8	
9	
10	
	[]
BST-F1(基礎の設計) ver1.01 http://www.asd.gr.jp	jp support@asd.gr.jp (C)2002 ASD Co. All right reserved. 021201
	ASD Co. & ASD Labo

#### 共通値を入力する画面です。

最初は、SI 単位での共通値を入力する状態になっています。



以上で、「共通データの設定」の説明は終わりです。

# 10. メンテナンスについて

- BST-F1 は随時改良が加えられています。
- 改良された修正ファイルは、全て弊社ホームページ上に掲載され、お客様がその修正ファイルをダウ ンロードし、既にインストール済みの BST-F1 を修正します。
- BST-F1 のお客様は、自動的にサポートメールリストに登録され、弊社ホームページ上に掲載された修 正版の情報は掲載と同時に自動的にお知らせのメールが送られます(不要であれば解除することもで きます)。
- 既にお客様の BST-F1 に組み込まれているプログラムに関する修正は、基本的には全て無償です。
- 但し、弊社から修正ファイルをフロッピーディスク又は CD-ROM でお送りする場合は、その都度有償となり、費用は1回の送付に付き1,500円(税込み)となります。
- BST-F1 に、新しく計算できる基礎の形状が追加される場合(例:杭基礎の計算等)、またはそれ以外の 計算機能(例:スラブの計算等)が追加される場合は、その都度個別に有償となります。
- BST-F1 について不明な点がありましたら、FAXまたはE-mailでお問い合わせください。 FAX 番号およびE-mailアドレスは、
  - FAX : 049-225-4755 E-mail :<u>support@asd.gr.jp</u> です。
- その他不明な点は弊社まで FAX または E-mail でお問い合わせください。

株式会社 エー・エス・ディー カスタマサポート <u>http://www.asd.gr.jp</u> <u>support@asd.gr.jp</u>

### 11. 単位系について

- BST-F1 では CGS 単位とSI 単位が扱われています。
- ここで CGS 単位は、SI 単位が採用されるまで使用されていた単位を表します。
- CGS 単位では、よく「工学単位」という表現が使用されていますが、これは工学的なこと等の関係者が、 自分の世界で使っている単位であるため「工学単位」と読んでいるだけで、これは正確な表現ではあり ません。
- 単位は物理量を表すもので、必ず論理的な体系をもっており、それらを単位系といいます。
- 従って単位系はあくまでも全ての物理量を表現すためのユニットを規定するもので、何も「工学」だけが 使用する特別なものではありません。敢えて「工学」という文言を使用して表現するなら「工学でも使っ ていた」とすべきで、もとより「工学単位」と特別に制定されたものはありません。
- 単位系については弊社ホームページのトップページにある 「単位系の表現について・SI単位とCGS単位」 のリンクに掲載していますので、そちらをご覧ください。

### BST-F1 使用説明書

2003年4月1日 第二版 非売品

版権所有 株式会社 エー・エス・ディー 〒350-0054 埼玉県川越市三久保町 5-1-404 TEL 049-229-5155 本書内容の無断複写、無断転載を禁じます。 Collaborate with the ASD Laboratory